

第4回地方独立行政法人西都児湯医療センター評価委員会 会議要録

日 時 平成27年7月21日（火）午後7時00分～8時00分
場 所 西都市役所議会委員会室
出席者 黒木正善委員長、落合秀信副委員長、岩本直安委員、
黒木隆子委員、水田祐輔委員
【市役所】 中武康哲地域医療対策室長、
津曲晋也地域医療対策室室長補佐、
金丸修二地域医療対策室地域医療対策係長
【医療センター】 長田直人理事長、安藤敏和事務局長
永野淳二総務課長
【有限責任監査法人トーマツ】 川崎智寛公認会計士

会議経過

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事

(1) 地方独立行政法人西都児湯医療センター中期計画（案）について

発言者	内 容
委員長	<p>本日の議題は、前回に引き続き「地方独立行政法人西都児湯医療センター中期計画（案）について」の1件です。</p> <p>計画の方向性、表現、指標選定の妥当性、指標数値の妥当性についてまとめたいと思います。ある程度区切った形で審議をお願いします。</p> <p>まず、「前文」と「第1 中期計画の期間」ですが、特段審議することはないと思いますので、提案されているとおりとし、「第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標</p>

発 言 者	内 容
	<p>を達成するためにとるべき措置」のうち、「1 医療サービス」の(1)から(4)までについて審議をお願いします。</p>
委員	<p>「(3) 医療連携の推進」の指標で、紹介率と逆紹介率がありますが、実績と目標があまり変わっていないという印象です。指標にある数値は、他の医療機関と比べて妥当といえるものなのか伺います。</p>
医療センター事務局	<p>この数値は、病院の機能・特色によって違いがあります。一般外来を行っていない県立病院や大学病院では、原則紹介状持参となっていることから紹介率は高くなっています。当院の場合、紹介率と逆紹介率は、基本的に紹介元に逆紹介してしていることからほぼ同じ数値になります。他の医療機関と比べて妥当といえるものなのかということについては、当院の機能がどうなっていくかということに影響されるものと考えています。救急車搬入件数と常勤医師数が増加することから、若干数値が上がるものと考えています。</p>
委員	<p>紹介率についてですが、前回の説明では、「医師数が1名増加すると約1%ずつ増加し、平成29年度には約31%になる予想です。」ということでしたが、平成30年度の目標値は30%以上となっています。数値が下がっているのではないかと思います。</p> <p>手術件数の指標についてですが、手術件数の100件と血管内治療件数の25件の合計125件が脳神経外</p>

発 言 者	内 容
	<p>科の目標手術件数となります。一般的な脳神経外科医の年間執刀件数は約50件ですから、脳神経外科医の増員が見込まれていないのであれば、かなり過酷な数値だと思います。</p>
<p>医療センター 理事長</p>	<p>深夜帯の緊急手術を含め、一人で行っており、現状においても過酷な状況だと思います。これは、再度院内で検討したいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>脳神経外科医の増員を見込まないとするならば、現状維持か若干の減少が妥当ではないかと思えます。減らすことができないのであれば、現状維持が良いと思えます。</p>
<p>医療センター 理事長</p>	<p>t-P A件数についてはどうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>t-P Aは、他の医師でも対応可能なので、指標のとおりで良いと思えます。</p>
<p>医療センター 理事長 委員</p>	<p>今のことについては、持ち帰って検討し、次回委員会で回答したいと思います。</p> <p>紹介率については、文言と表の内容に食い違いがありますので、この件も持ち帰って検討し、次回委員会で回答したいと思います。</p> <p>特殊用語のt-P Aなどの横文字については、できる限りわかりやすい注釈や表現に配慮していただきたいと思えます。</p>

発 言 者	内 容
医療センター 理事長	できる限りフルスペルと日本語の説明を追加したいと思います。
委員長	次に、「2 医療の質の向上」の(1)から(5)までについて審議をお願いします。
委員	院内医療安全研修会が6回となっていますが、2カ月に1回開催することになります。可能な回数ですか。
医療センター 事務局	院内医療安全研修会の指標数値の6回は、部門別研修会の2回が含まれています。全体研修会としては、4種類の研修会を2回ずつ実施していますので、指標の数値も4回に変更することを検討したいと思います。今後については、全体研修会の種類に医療医薬品と医療機器に関する2種類の研修会を加え、合計6種類の中から毎年4回の研修会を実施していきたいと考えています。
委員	クリニカルパスの導入ですが、ほとんどのクリニカルパスが脳外科に関するで、10種類という目標は現実的に難しいものではないのでしょうか。また、地域連携クリニカルパスが平成30年度に1種類加わるということによろしいのでしょうか。
医療センター 事務局	実施可能な数値と考えています。

発 言 者	内 容
委員長	次に、「3 患者サービスの向上」の(1)から(5)までについて審議をお願いします。
委員長	特にご意見がなければ、次に、「4 公的医療機関としての役割」と「5 法令遵守」について審議をお願いします。
委員長	特にご意見がなければ、次に、「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置」について審議をお願いします。
委員	「1 法人運営管理体制の確立」の最後の2行に「さらに、中期計画及び年度計画の着実な達成に向けて、毎月の収支報告及び各診療科・部門の業績を集計し、計画の進捗状況や課題を把握できる体制を整備する。」とありますが、中期目標（案）に対する計画としては、ややトーンダウンしている印象を受けます。そのような印象を受けないものが良いのではないのでしょうか。
医療センター事務局	今のご意見については、持ち帰って検討し、次回委員会で報告させていただきます。
委員長	次に、「第4 財政内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置」について審議をお願いします。
委員	「(2) 支出の節減」のジェネリック医薬品の使用

発 言 者	内 容
	<p>拡大については、数値化して指標を示すことはできないのでしょうか。</p>
<p>医療センター 事務局</p>	<p>今のご意見については、持ち帰って検討し、次回委員会で説明させていただきます。</p>
<p>医療センター 理事長</p>	<p>ジェネリック医薬品が必ず良いとは限らない場合があるという現場の医師の意見もありますので、十分なディスカッションをした上で数値化できるかどうか検討したいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>大学病院や他の多くの医療機関において、ジェネリック医薬品の使用拡大に関する数値目標を掲げていることから、数値化した指標をお願いしたいと思います。</p>
<p>医療センター 理事長</p>	<p>指標として示せるよう努力します。</p>
<p>医療センター 事務局</p>	<p>大学病院、TPCの病院などのまるめ病院や包括点数の病院では、ジェネリック医薬品を増やすことでコストを抑え、病院の収入増加と患者負担の軽減が図られることから重要なことだと思います。国の動向も同様であり、当院としても努力することは重要なことだと思いますが、当院は全て一般病床で出来高になっていることから、ジェネリック医薬品の使用拡大が支出の節減につながるかという点必ずしもそうではありません。</p>

発 言 者	内 容
委員	急性期でやっていくのですよね。DPCはやらないのですか。
医療センター 事務局	将来的に急性期を中心にやっていきたいと考えています。DPCに関しては、検討しなければならないことだと考えています。申請して2年くらいを要する準備病院にならないといけないなどの時間的問題もあります。内部で検討し、可能であれば現在の出来高とDPC導入した場合の比較をして検討したいと思います。
委員長	最後になりますが、「第6 短期借入金の限度額」から「第11 その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき事項」について審議をお願いします。
委員長	特になければ、今回審議した内容を十分検討し、次回委員会に提出をお願いします。あわせて、次回委員会には収支関係に関する部分が提出され、業務方法書と役員報酬等基準の審議にも入っていきたいと思います。

※次回開催日時は、平成27年8月4日(火)午後7時からとしました。

4 その他

特になし

5 閉会